

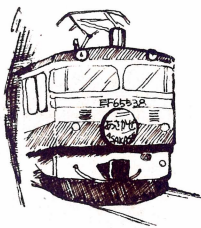
- 昭和51年 2月20日印刷
- 昭和51年 4月 1日発行
- 編集・発行者 竹島紀元
- 編集スタッフ
- 塚本雅啓／松尾定行／金子俊夫
- 佐藤礼子
- アートディレクト 岡田徹也
- 発行所

(株)鉄道ジャーナル社

〒102 東京都千代田区飯田橋4-8-6
日産ビル 電話03(264)1891・1892

振替口座 東京82820番

●印刷所 凸版印刷株式会社



日本の鉄道の「戦後」を語るとき昭和30年代に展開された華麗かつ激動の歴史を忘れることはできない。とくに国鉄の場合 戦争中の酷使で荒廃した巨大な施設の復興が 新技術の開発と近代化というかたちで進められたが その中心となったのが「動力近代化」であった。新性能電車の登場で始まり「こだま形」特急電車はじめ各種の近代電車のあいつぐ誕生 交流電化の開発 実用化をへて この年代の終期には世界に誇る新幹線が生まれた。一方 液体式気動車の発達 はローカル線の旅客輸送近代化を達成したばかりでなく ディーゼル特急・急行網を全国に張りめぐらした。また標準系列の新鋭電気機関車・ディーゼル機関車もそろい 客貨輸送の近代化も急速に進んだ。

このように「動力近代化」が萌芽し開花した昭和30年代の鉄道をふり振り返り 鉄道が近代化してゆくすがたを具体的にみつめようというのが 今月の特集である

目次 特集●〈あさかぜ〉から新幹線まで

- 7 レールウェイ・レビュー 寒さと雪への備え
 - 8 ニュース・ファイル(国鉄・私鉄・海外鉄道の動き)
 - 14 車両基地(国鉄動力車の新製・改造・転属・廃車)
 - 15 廣田尚敬作品集②美しき鉄道の鼓動
- ### 映える

—— 特集 〈あさかぜ〉から新幹線まで ——

- 25 ‘昭和30年代の鉄道’誌上再現 編集部
- 42 年表でみる昭和30年代の鉄道
- 44 昭和30年代に消えた名機C51 鈴木武夫
- 46 ‘36・10’白紙ダイヤ改正 優等列車一覧 編集部
- 51 昭和30年代の電気機関車の発達 澤野周一
- 58 昭和30年代の旅客車の発展 星 晃
- 75 セミ鉄道ファンの戦後アルバム② 黒岩保美
- ‘名列車’誌上リバイバル⑭
- 83 山陽路に散った〈はと〉 種村直樹

- 91 雪に逝く(カラーグラフ) 白井朝子
- 97 終焉近づく17m国電
- 路面電車再発見④
- 98 仙台市交通局／東急世田谷線 日本路面電車同好会
- 107 トップ・アングル
- 109 世界の時刻表 安井義彦
- 115 レールファン・ノートから⑧機関車の本 本島三良
- 123 ヨーロッパの鉄道と列車の旅②⑥ 山之内秀一郎
- 電気機関車(4)
- 116 ブルー・トレイン
- 122 ワイドレンズ／ズームレンズ／魚眼／新刊紹介／新聞記事ざっくり／伝言板／タブレット／鉄道友の会だより／R J クイズ／ジャーナル編集室／次号予告／乗務員室

表紙／未電化幹線のホープ DD51 カメラ・廣田尚敬

特大号 特価 550円 〒60円